



2020年3月議会が始まる



3月の定例議会は2月14日から3月19日までの35日間と決まりました。

27日は5会派からの会派代表者質問が行われ、2月28日、3月2日、3日には15名の議員から一般質問が行われます。金子かずお議員の一般質問は以下のとおりであります。

金子かずお議員の一般質問内容

3月議会の一般質問は14日から始まりませんが、金子かずお議員の一般質問の内容は、①市長公約事業について②福祉支援センターについて執行部の考えを質します。

質問事項…市長公約事業について

質問趣旨…昨年度は、市長公約事業について市長公約事業のロードマップに基づき①徹底した行政改革について②安心の子育てについて③頼れる福祉について④便利なインフラについて⑤活気ある地域について⑥誇れるまちについての6つの柱について

重点的かつ優先的に取り組むとして今日まで事業が進められています。令和2年度も一つ(1)魅力をみんなで創るまち
二つ(2)誰もが自分らしく生きるまち
三つ(3)未来をつくる人が育つまち
四つ(4)市民のために科学技術を活かすまち
の四本柱を市政運営の所信と主要施策の概要として示されています。昨年度の成果や実績などについて、および継続的な事業も踏まえ、以下新年度の取り組みについて。

- (1) 魅力をみんなで創るまちについての考え方
- (2) 誰もが自分らしく生きるまちについての考え方
- (3) 未来をつくる人が育つまちについての考え方
- (4) 市民のために科学技術を活かすまちについての考え方

質問事項…福祉支援センターの業務委託について

質問趣旨…市内には市の事業として福祉支援センターやたべ、福祉支援センターさくら、福祉支援センターとよさと及び福祉支援センターくさぎで「地域活動支援センター事業」が行われています。

昨年の12月議会で、新年度から事業の一部を民間委託で実施することが議決されました。事業が大きく変化をするときは利用者や保護者の理解が必要であり、部内の調整などが重要と思えます。

この地域活動支援センター事業が開始されてから、民間委託へ至るまでの経緯と今後の進め方について。

議会報告・一般質問から

児童発達支援センターについて③



質問・金子かずお議員

幼稚園や保育所などにも子供たちが入園、入所したりしているわけですがけれども、最初に、私が思うのには子供を育てていく中で、保健センターで、その子供が健康な状態とか、あるいは病気になっていないかとかということで、初期の相談に行くケースが多いのではないかと思います。そういう点では、保健センターの役割というのは大変重要なことと感じております。後でまた連動することがありますので、進みます。最近は、民間の福祉施設や福祉事業所がサービスを提供しておりますけれども、近年、市内には民間の福祉施設あるいは福祉事業所が多く存在しています。サービスを受ける対象年齢や利用サービス等の違いが言われますけれども、児童発達支援事業の現状についてお尋ねしたいと思います。

答弁・保健福祉部長

児童発達支援の事業所は、平成28年度は17カ所で支援決定者は267人、平成29年度は32カ所で276人、平成30年度は34カ所で374人の児童が対象となっております。

質問・金子かずお議員

放課後等デイサービス事業の現状がわかったら教えていただきたいと思います。

答弁・保健福祉部長

放課後等デイサービスの事業所は、平成28年度は25カ所で支給決定者は309人、平成29年度は54カ所で424人、平成30年度は66カ所で476人の児童が対象となっております。

質問・金子かずお議員

先ほどから数値を挙げていただいております。民間がいろいろなところに進出してくるということは時代の流れ、あるいはそういうことになるのかと思いますけれども、例えば行政と民間という形になっていくと、行政が、例えば民間の事業所とかに言うことを、どのような形で指導というか、関係を持っていけるのかなと関心があるところですがけれども、その辺はどのような状況になっているのでしょうか。

答弁・保健福祉部長

当方からは、気になる事項については随時指摘をするということのほか、障害者総合支援法の規定により、市町村は事業者への指導、調査を行うこととされております。つくば市では、障害者通所支援事業者に対して年1回の集団指導と、茨城県と合同で3年に1度の実地指導を行っており、集団指導では請求等に関する指導や市の専門職による研修を行い、実地指導では事業所を訪問して、適切な運営に関する指導を行っております。（次号に続く）